

日本PTA全国研究大会への参加報告

第65回 日本PTA全国研究大会／ 第49回 日本PTA東北ブロック研究大会

【 仙 台 大 会 】

☆大会スローガン

つながろうPTA！ 子どもたちの輝く未来のために

～杜の都発！みちのくの今を伝えたい 感謝の思いと確かな歩みとともに～

平成29年8月25日（金）、26日（土）の2日間に渡り、第65回 日本PTA全国研究大会 仙台大会が開催されました。平成23年に発生した東日本大震災後、はじめての東北開催となりました。震災を乗り越え、復興に向けた歩みを止めることなく着実に進み続けている皆様のPTAに対する熱い思いを感じる大会でした。

25日（金）は10会場に分かれて分科会が開催されました！！

第一分科会／多くの仲間と活動できるPTA活動を求めて

第二分科会／子どもの個性を伸ばす家庭環境を求めて

第三分科会／協働による学校教育活動の在り方を求めて

第四分科会／保護者や地域への更なる発信力を求めて

第五分科会／地域と共にあるPTA活動の在り方を求めて

第六分科会／互いを認め、尊重し合える心の教育を求めて

第七分科会／子どもたちが健やかに育つ環境の在り方を求めて

第八分科会／子どもたちの健康な心と身体を育む食を求めて

特別第一分科会／「いじめ」何が起きているかを知る

特別第二分科会／支援される側から支援する側へ さらに一歩踏み出した子どもたち

第四分科会の様子です！！

第四分科会では歓迎アトラクションとして津軽三味線奏者の浅野 祥さんによる素晴らしい演奏を聞かせていただきました。

基調講演では女優の酒井美紀さんによる講演がありました。酒井さんは緊急人道支援などを目的としたボランティア活動を行う国際 NGO ワールドビジョンジャパンの親善大使を務められており、海外を中心に多くの支援活動をされておられます。また、酒井さん自身、現在、小学校でPTAのクラス役員をなされているそうで、女優業、母親、PTA 役員と多方面で活躍されております。「学校と仕事と私」と題して、発展途上国での支援活動の経験を踏まえた講演を聞かせていただきました。

実践発表として前仙台市富沢中学校PTA会長の鹿又さんの発表の後、パネルディスカッション、時期開催地PR、閉会式へと進みました。

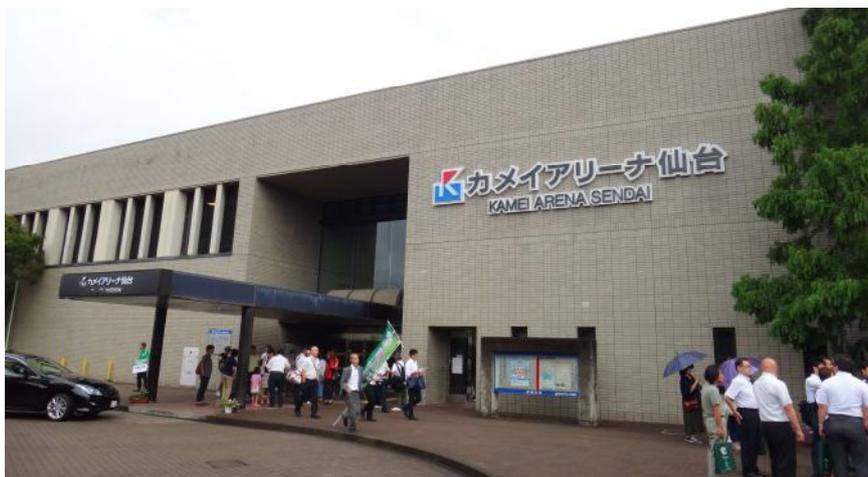
実践発表を聞いて！！



富沢中学校の生徒たちは、震災を経験し、被害は少なかったものの、それでの寄せられる全国からの善意への感謝の気持ちを生徒たちは地域へのボランティア活動で表しました。その子どもたちの気持ちを広く発信してあげたいと願う保護者ならびに教職員の思いで素晴らしい広報誌を作成され、3年連続で表彰を受けられました。震災を受けつらい気持ちの中、前を向いて進み続けた子どもたちの活動に感銘を受けました。

26日（土）はカメイアリーナ仙台において、全体会が開催されました。全体会の開催を前に、戦国武将 伊達政宗率いる伊達武将隊によるアトラクションや仙台において戦国時代から踊られている伝統的な「すずめ踊り」や「さんさ時雨」が披露されました。「すずめ踊り」には子ども達も参加して全国からの参加者に「おもてなし」をしていただきました。

記念講演では「オリンピックへの挑戦～家族の絆で掴んだ父娘メダル～」としてオリンピックメダリストの三宅宏実さんと指導者で父親の三宅義行さんによる講演が行われました。



記念講演を聞いて！！

指導者が父親という環境の中、オリンピックを目指して競技を続け、2大会連続でメダルを獲得されました。講演では父親だけでなく、母・兄・叔父と家族全員のサポートを受けて獲得したメダルだと聞きました。刈刈ワヅツは個人種目であるが、家族を中心とした多くの見守りの中で、三宅宏実さんはメダリストとして成長されたのだと感じました。

新潟より次期開催地のPR隊が駆けつけました！！

次年度の日P大会は新潟で行われます。全体会において大会旗の引継があり、新潟から130名もの実行委員の方が次期開催地のPRに来られていました。



仙台大会の実行委員のみなさん、お疲れ様でした！！

東日本大震災後、初めての東北地方での開催となりました。道路や教育施設など主要なインフラの多くは復興がすすんでおりますが、現在に至る道のりは想像以上に厳しいものだったと思います。その中で富沢中学校での実践発表にもあったように、この6年間もの間、一丸となって前を向いて進み続けている東北のみなさんの気持ちが伝わるPTA全国研究大会 仙台大会でした。この2日間の学びを実のある物とし未来ある子供達に反映できる様に努力していきたいです。

最後になりましたが「仙台大会」の開催にあたり、ご尽力いただきました、五十嵐実行委員長をはじめとする、多くの関係者の皆様、すばらしい「仙台大会」をありがとうございました。また、お疲れ様でした。